

平成 27 年度後期  
学校評価アンケートの結果より

春暖の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解ご協力いただきありがとうございます。2月に実施致しました「後期学校評価アンケート」の結果についてお知らせいたします。

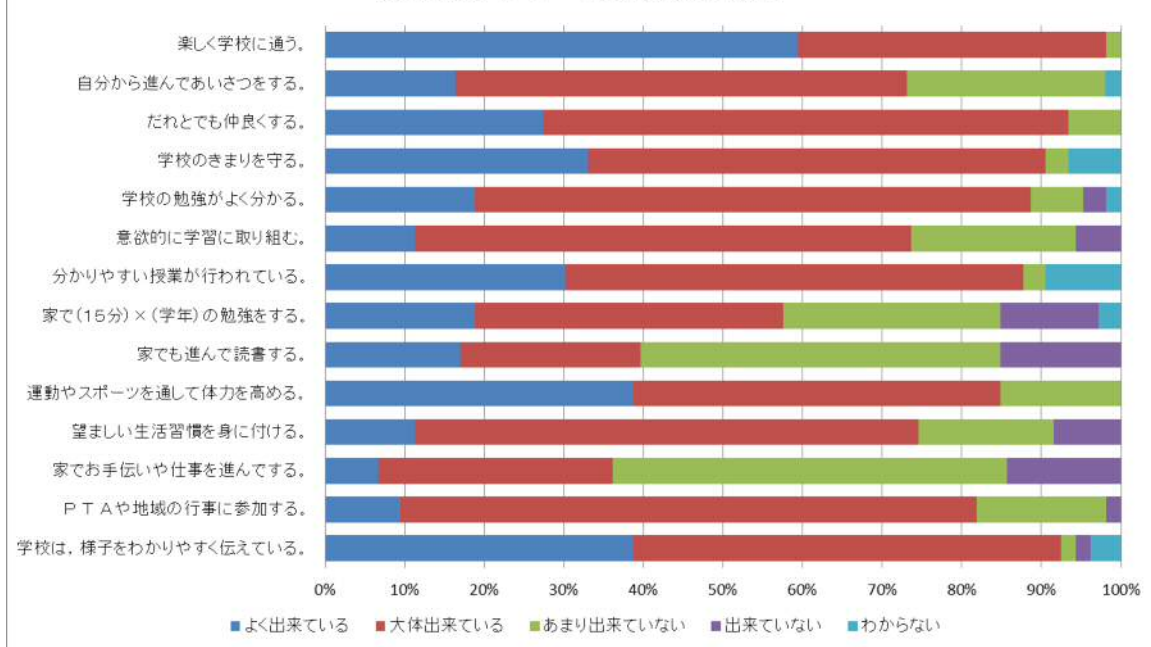
保護者アンケート 重要度・実現度 分布図

高 ↑ 実現度 ↓ 低		子どもが、だれとでも仲良くする。	子どもが、楽しく学校に通う。	八瀬小の強み
		子どもが、学校のきまりを守る。	子どもが、自分から進んであいさつをする。	
		子どもが、意欲的に学習に取り組む。	子どもが、学校の勉強がよく分かる。	
		子どもが、家で(15分)×(学年)の勉強をする。	子どもに分かりやすい授業が行われている。	
		子どもが、運動やスポーツを通して体力を高める。	子どもが、「早寝早起き朝ごはん」等望ましい生活習慣を身に付ける。	
		子どもが、PTAや地域の行事に参加する。		
		学校は、教育方針や取組の様子を学校便りやホームページなどでわかりやすく伝えている。		
		子どもが、家でも進んで読書する。		
		子どもが、家でお手伝いや仕事を進んでする。		
	低	← 重要度 →		

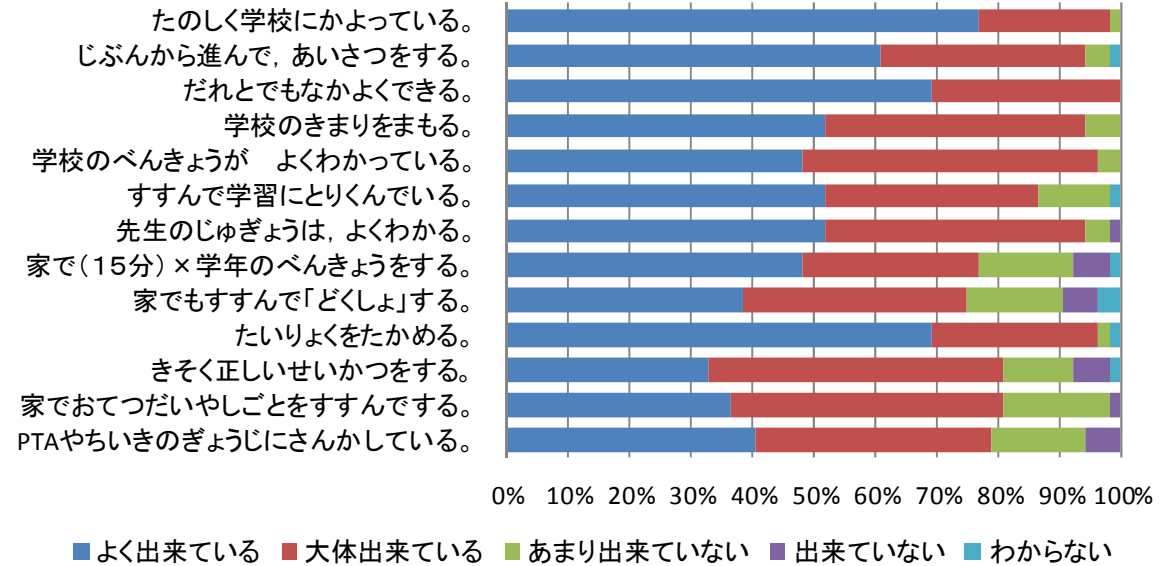
「保護者評価の実現度と重要度の分布」について：アンケート項目について、それぞれがどの程度重要と思っているか（重要度）を横に、どの程度できているか（実現度）を縦に、それぞれ4段階に分けた図を作り、今回のアンケート結果で各項目が図のどこに位置するかを示したものです。一番右上のマスは保護者の皆さんが最も需要だと思っ

ていることがしっかりとできているという結果が出た項目を記入しています。前期との違いを見ると、「自分から進んであいさつ」の項目が大きくポイントを上げました。これはとても喜ばしいことです。

保護者アンケート結果(実現度)



児童アンケート結果



学校評価の結果をみて

【保護者評価の重要度と実現度の分布】より

重要度の分布については前期と大きな変化はありませんでしたが、重要度が最も高い領域と次に重要な領域とが整理され、八瀬小の保護者の皆さんが最も大切にしたいと思われていることが明確になったように思います。また、実現度が前回ボーダーラインより下にあった項目が4から2に減り「あいさつ」と「家で(15分×学年)の勉強」が実現度最高のエリアに入ってきました。ただ、一方で「家で進んで読書」「進んでお手伝い」の2項目は依然ボーダー下のままで、かつ評価のポイントが前期よりもさらにポイントが下がっており、課題として残りました。

【保護者及び児童の実現度結果】より

左下と右上のグラフは保護者・児童それぞれの実現度の結果です。今回特筆すべきは「自分から進んであいさつをする」が、保護者、子どもともに評価を上げたことです。プラス回答の割合が、保護者は58.5%→73.0%、児童は88.7%→94.1%と大きく上がりました。子どもたちが「ちゃんとやるよ」と思っていることがおうちの方にも伝わったということで、家庭と地域・学校とが共通認識のもと取り組んだことが実を結んできたといえると思います。

また、学習に関する項目についてみると、「わかりやすい授業」「学校の勉強がよく分かる」の2項目はそれぞれ保護者・児童とも前期よりもポイントが増加していますが、「意欲的に(すすんで)学習に取り組む」についてだけは保護者・児童共にポイントがマイナスとなりました。“先生の授業はわかりやすく、学校の勉強はよく分かるんだけど、自分からすすんで勉強する気にはならない。”ということでしょうか。保護者の自由記述の中にあった「わかりやすさと共に、面白さを」というご意見ともつながるのですが、学校として、子どもたちが興味を持ち、自ら追求していけるような学習を行うことが求められているのだと、今後の課題として受け止めています。

【結果についての学校運営協議会の皆様の声】

- ・挨拶等、結果として高まっているのはよいことだが、日常子どもたちと接している印象としてはそれほど変わったとは思えないところもある。誰に対しても、しっかりと相手の目を見て挨拶ができる子にしたい。
- ・学習の意欲については、様々な原因があると思う。子どもを見つめ、それぞれの子の実態に合った対応が必要であろう。
- ・学校に対して様々な意見があると思う。100人いれば100通りの思いがある。学校が知恵を必要とする時、運営協議会は力になる。先生方には子どもたちにとって心に残る先生となるよう努力してほしい。